

2021 年 1 0 月 2 4 日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11 時からは録画を視聴できます。

10 月 24 日 聖日礼拝

前 奏

招 詞 イザヤ書 49 章 13 節

「天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々よ、歓喜の声をあげよ。主がご自分の民を慰め、その苦しむ者をあわれまれるからだ」アーメン

会衆賛美 聖歌 26 (1, 2 節)

会衆賛美 主はぶどうの木 (1 回)

主の祈り 詩篇 121 篇 1 ～ 8 節

交 読

礼拝祈禱 詩篇 121 篇 1 ～ 8 節

使徒信条 マタイの福音書 14 章 24 ～ 36 節

聖書朗読 弟子の信仰 (信じる者をつかむ主)

説 教 聖歌 523 (1, 2 節)

会衆賛美 聖歌 376

献 金

祝 詞 報告 感謝祈禱

■聖歌 26 「つくられしものよ」(1, 2 節)

①造られしものよ 声あげて歌え ハレルヤ ハレルヤ
造りぬしにして その支配者なる
主なる神を ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

②風よ主を歌え 雲よ主をほめよ ハレルヤ ハレルヤ
朝日いざ歌え ゆうづき いざほめよ
主なる 神を ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

■「主はぶどうの木」 (※→★→※の順で歌う)

※主はぶどうの木 わたしは枝です いつも離れずに
主はぶどうの木 わたしは枝です 豊かな実を結ぶ

★みことばに留まり 愛に生きるなら
この世は知るでしょう 主の救いと 癒し

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 121 篇 1～8 節

- 1 私は山に向かって目を上げる。
私の助けは どこから来るのか。
- 2 私の助けは主から来る。
天地を造られたお方から。
- 3 主は あなたの足をよろけさせず
あなたを守る方は まどろむこともない。
- 4 見よ イスラエルを守る方は
まどろむこともなく 眠ることもない。
- 5 主はあなたを守る方。
主はあなたの右手をおおう陰。
- 6 昼も 日があなたを打つことはなく
夜も 月があなたを打つことはない。
- 7 主は すべてのわざわいからあなたを守り
あなたのたましいを守られる。
- 8 主はあなたを 行くにも帰るにも
今よりとこしえまでも守られる。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 14章24～36節

- 24 舟はすでに陸から何スタディオンも離れていて、向かい風だったので波に悩まされていた。
- 25 夜明けが近づいたころ、イエスは湖の上を歩いて弟子たちのところに來られた。
- 26 イエスが湖の上を歩いておられるのを見た弟子たちは「あれは幽霊だ」と言っておびえ、恐ろしさのあまり叫んだ。
- 27 イエスはすぐに彼らに話しかけ、「しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない」と言われた。
- 28 するとペテロが答えて、「主よ。あなたでしたら、私に命じて、水の上を歩いてあなたのところに行かせてください」と言った。
- 29 イエスは「來なさい」と言われた。そこでペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスの方に行った。
- 30 ところが強風を見て怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。
- 31 イエスはすぐに手を伸ばし、彼をつかんで言われた。「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか。」
- 32 そして二人が舟に乗り込むと、風はやんだ。
- 33 舟の中にいた弟子たちは「まことに、あなたは神の子です」と言って、イエスを礼拝した。
- 34、それから彼らは湖を渡り、ゲネサレの地に着いた。
- 35 その地の人々はイエスだと気がついて、周辺の地域にくまなく知らせた。そこで人々は病人をみなイエスのもとに連れて来て、
- 36 せめて、衣の房にでもさわらせてやってください、とイエスに懇願した。そして、さわった人たちはみな癒やされた。

■聖歌 5 2 3 「この世の旅路に」(1, 2 節)

①この世の旅路に 君は わが身を
導き助くる 強き友なり

※しとうイエスよ しとうイエスよ
近く ましたまえ 常に わが身と

②たのしみ求むる 愚かさ やめて
共に担(にな)わばや イエスの十字架を

■頌栄 聖歌 3 7 6 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまのおおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」